

令和元年度

法の日週間記念広報行事「～家庭裁判所は今年で70歳になりました～」実施報告

11月13日（水）に水戸家庭裁判所において「法の日週間記念広報行事～家庭裁判所は今年で70歳になりました～」を開催しました。当日は、茨城県民の日ということで学生を含む29名の方々にお集まりいただき、家裁70年のあゆみや家裁で働く人々の役割等の説明後、家事コースと少年コースに分かれ、それぞれ家事調停に関するパネルディスカッション等、少年事件の模擬審判等を行い、最後に裁判所の庁舎等を見学していただきました。



家裁のあゆみ・家裁で働く人々

家庭裁判所70年のあゆみ、その沿革と現在の態勢等を説明し、家裁で働く書記官、調査官、裁判官それぞれの立場から各職種の役割や職種間の連携等につき説明がなされました。参加者の皆さんは裁判所で働く人々の1日の具体的なスケジュールやそれぞれの仕事の魅力ややりがいについて熱心に耳を傾けていらっしゃいました。



【家事コース】家事調停

家事調停事件の実際の進行に沿って場面ごとに家事調停に関するDVD視聴を交え、家事調停に関わる調停委員、書記官、調査官、裁判官をパネリストとし、パネルディスカッションの形式で議論がなされました。皆さんから積極的に発言や質問があり、家事事件に対する関心の高さがうかがわれました。



【少年コース】少年審判

少年事件に関する説明 DVD を視聴後、在宅（窃盗）の少年事件を題材に、裁判所職員が裁判官、書記官、調査官、少年、保護者の役を演じる模擬審判が行われました。

参加者の皆さんは、少年審判の具体的なイメージを持っていただいたようで、模擬審判後は活発な質疑応答がなされ、裁判官による手続きの解説に真剣に耳を傾けていらっしゃいました。



＜参加者の方の声＞

- 裁判所で働いている人々のそれぞれの仕事内容や大変なことやりがいが聞けて、より裁判所の仕事に興味を持ちました。
- 調査官という職業を今日始めて知り、興味を持ちました。
- 模擬だと分かっているけど、本番さながらの演出でこちらまでその場にいるような気持ちになりました。
- 少年審判がどのように行われるのか、今まで知らなかったもので、模擬審判を通じて学ぶことができよかったです。
- 家事調停の現場で活躍されている方々の話を伺うことができ大変勉強になりました。1つの調停に多くの方が関わり手続きが丁寧に進められているのを見て安心感を覚えました。
- DVDを視聴し家事調停の流れを学び、実際の事件にかかわる方々の体験談が参考になった。
- かーくんがかわいいと思いました。



「法の日」週間行事にお忙しい中御参加いただき、誠にありがとうございました。水戸家庭裁判所では、裁判所についてより一層の御理解をいただき、裁判所をより身近に感じていただけるよう、皆様からの御意見等も踏まえ、これからも広報行事を開催いたしますので、多くの方々の御参加を心よりお待ちしております。